

事業所名

おひさま（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

令和8年

4月

1日

法人（事業所）理念		子ども一人一人の人權や主体性を尊重し、安心できる環境の中で自己肯定感を育み、将来の社会参加を見据えた支援を行う。 深い愛情をもって子どもたちとかがかわる。								
支援方針		子どもの発達段階や特性を丁寧にアセスメントし、個別支援計画に基づいた支援を行う。 遊びや生活体験を通して主体的な学びを大切に、成功体験の積み重ねにより自己肯定感を育てる。また、保護者と連携しながら一貫した支援を提供する。								
営業時間		9時	00分	から	15時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達段階に応じた生活リズムの安定を図る ・食事、排泄、着替えなど基本的な生活動作の獲得を段階的に支援する ・視覚的支援（スケジュール・手順表）を用い見通しを持った行動を促す ・安心して過ごせる環境調整を行い情緒の安定を図る ・成功体験を積み重ね主体的に生活行動に取り組めるよう支援する 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動・微細運動の発達を促す遊びを取り入れる ・感覚特性に配慮した環境設定を行う（音・光・触覚等） ・体幹を意識した姿勢保持や身体の使い方を支援する ・感覚統合を意識した活動（バランス運動、リズム運動等）を実施する ・成功体験を通して身体を動かす楽しさを育てる 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや体験活動を通して概念形成を促す ・課題の理解を促すため視覚的・具体的な提示を行う ・行動の切り替えが難しい場合は予告や選択肢提示を行う ・困り感の背景を理解し適切な代替行動を伝える ・成功体験を通して達成感を味わい意欲の向上を図る 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階に応じたコミュニケーション方法を活用する ・要求・拒否・共有などの機能的コミュニケーションを育てる ・絵カードやジェスチャーなど視覚支援を活用する ・遊びの中で語彙を増やし言葉の理解を広げる ・やり取りの楽しさを体験し他者との関係づくりを支援する 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団活動を通して他児との関わりを経験する ・順番・ルールのある遊びを通して社会性を育てる ・気持ちの理解を促す関わりを行う ・トラブル時には仲介し適切な関わり方を伝える ・成功体験を通して他者との関わりへの安心感を育てる 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子を丁寧に共有し成長を共に喜ぶ関係づくりを行う ・家庭で取り入れやすい関わり方を具体的に助言する ・保護者の不安や悩みに寄り添い心理的支援を行う ・必要に応じ関係機関と連携し包括的な支援を行う 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けた生活面・行動面の準備支援 ・学校生活を想定した集団活動の実施 ・就学先との情報共有・引き継ぎ支援 ・保護者の就学に関する不安軽減への支援 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園等との情報共有を行う ・地域資源を活用した外出や体験活動を実施する ・地域行事への参加を通して社会経験の機会を提供する ・関係機関との連携により一貫した支援を行う 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な事例検討会の実施 ・外部研修への参加 ・支援の振り返りと改善 ・専門職との連携による知識向上 ・チーム支援体制の強化 		